

M0008605D

UPS 管理システム
BPSPOC- II
STANDALONE
インストールガイド
for Windows

TMR-06879-001

NECフィールディング

※ **Windows** は、米国 **Microsoft Corporation** の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ その他の製品名、社名は各社の登録商標または商標です。

※ **Microsoft Corporation** のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

おことわり

- (1) 本ソフトウェアおよび本書の一部または全部を、許可なく複製、転載することは、かたくお断りいたします。
- (2) 本製品の内容につきましては万全を期して検査を行っておりますが、万一、お気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (3) 本製品の内容は、予告なく変更される場合があります。
- (4) 本製品の運用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになって、機能を理解した上で御使用ください。本製品を使用したことによる結果につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

目次

1. はじめに	1
1.1 動作環境.....	1
1.2 制約事項.....	2
2. インストールを行う前に	3
2.1 UPSの設定.....	3
2.2 UPSとの接続.....	3
2.3 動作環境について.....	3
3. インストール	4
3.1 インストールプログラムの起動.....	4
3.2 製品のライセンス.....	6
3.3 インストール先フォルダの確認.....	6
3.4 プログラムフォルダの選択.....	7
3.5 ファイルコピーの開始の確認.....	7
3.6 ファイルのコピー(インストールの実行).....	8
3.7 インストールの終了.....	8
4. セットアップ	9
4.1 UPS 接続情報設定機能.....	9
4.1.1 UPS 接続情報の設定手順.....	9
5. BPSPOC-II STANDALONE の動作	12

はじめに

1. はじめに

BPSP0C-II STANDALONE は、UPSと接続して使用することで電源異常発生時に、お使いのコンピュータの自動シャットダウンを安全に行うことができます。

1.1 動作環境

コンピュータ本体：AT互換機

CPU：PentiumⅢ500MHz以上

メモリ：32Mバイト以上（64Mバイト以上を推奨します）

ディスク容量：95Mバイト以上の空き容量

ディスプレイ：640×480ドット以上表示可能なディスプレイ

使用OS：日本語 Windows NT4.0^(*1)、日本語 Windows 2000、
日本語 Windows XP(x86, x64)、
日本語 Windows Server 2003 / 2003 R2 (x86, x64)^(*2)、
日本語 Windows Vista(x86, x64)^(*3)、
日本語 Windows Server 2008(x86, x64) / 2008 R2(x64)^(*4)、
日本語 Windows 7(x86, x64)^(*5)
日本語 Windows Server 2012(x64) / 2012 R2(x64)^(*6)、
日本語 Windows 8(x86, x64)^(*7) / 8.1(x86, x64)^(*8)、
日本語 Windows 10(x86, x64)^(*9)、
日本語 Windows Server 2016(x64)^(*6)

(*1) Service Pack 6 以上

(*2) Standard Edition および Enterprise Edition

(*3) Business、Enterprise および Ultimate

(*4) Standard、Enterprise および Web Server

(*5) Professional、Enterprise および Ultimate

(*6) Essentials、Standard および Datacenter

(*7) Windows 8、Windows 8 Pro および Windows 8 Enterprise

(*8) Windows 8.1、Windows 8.1 Pro および Windows 8.1 Enterprise

(*9) Home、Pro、Enterprise および Education

OSをシャットダウンしたとき、電源が自動的にOFFするコンピュータを使用される場合は、次の点に注意してください。

このようなコンピュータは、電源が給電されても自動的にコンピュータが起動されない可能性があります。電源保護の対象となるコンピュータをUPS起動時に自動的に立ち上げたい場合は、コンピュータ側での設定が必要となります。

また、機種によっては設定できない物もあります。予め、コンピュータメーカーにご確認のうえシステム構築を行ってください。

はじめに

1.2 制約事項

BPSPOC-II STANDALONE は、UPS と1対1でコンピュータの電源をとることを前提としています。このため、以下の制約があります。

これらの制約が問題となる場合は、別売のオプション・ソフトをご使用ください。

なお、別売のオプション・ソフトを使用する場合には、必ず **BPSPOC-II STANDALONE** をアンインストールしてください。

- (1) 同じ UPS から電源供給できる装置は、本ソフトウェアをインストールしたコンピュータの電源制御 (ON/OFF) と同期した電源制御を行っても問題ない装置であること。
- (2) 複数システム対応 UPS を使用する場合でもシステム別の制御は行えません。常に全システム一括した電源制御となります。

インストールを行う前に

2. インストールを行う前に

2.1 UPSの設定

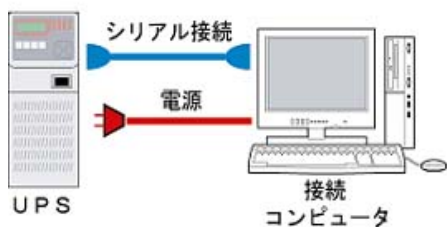
UPS のインタフェース設定を「ワークステーション」に設定して使用します。

2.2 UPSとの接続

UPS 付属のシリアルケーブルを使用し、UPS とコンピュータを接続します。

2.3 動作環境について

インストールされた **BPSP0C-II STANDALONE** は、UPS と1対1でコンピュータの電源をとる場合に使用し、UPS と負荷となるコンピュータをシリアルケーブルで接続して使用します。



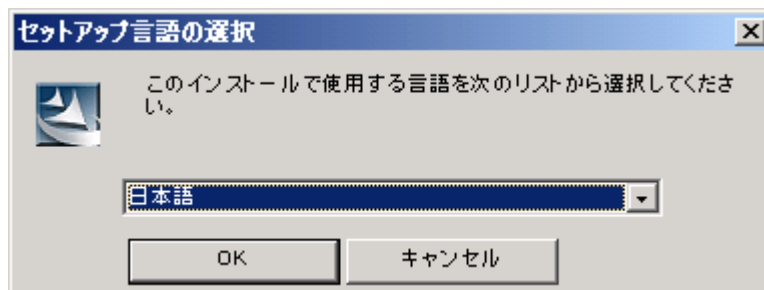
3. インストール

ここでは、**Windows 2000** 以降の OS についてインストール手順を説明します。**WindowsNT** へのインストールは、CD-ROM の **WinNT** フォルダ内の **setup.exe** を起動し、インストーラの指示に従い、インストールしてください。

以降の操作は、**管理者 (Administrators)** 権限を持ったユーザで実施してください。

3.1 インストールプログラムの起動

- (1) CD-ROMドライブに **BPSPOC-II STANDALONE** のCD-ROMをセットします。
- (2) インストールプログラムが自動起動し、次の画面が表示されます。

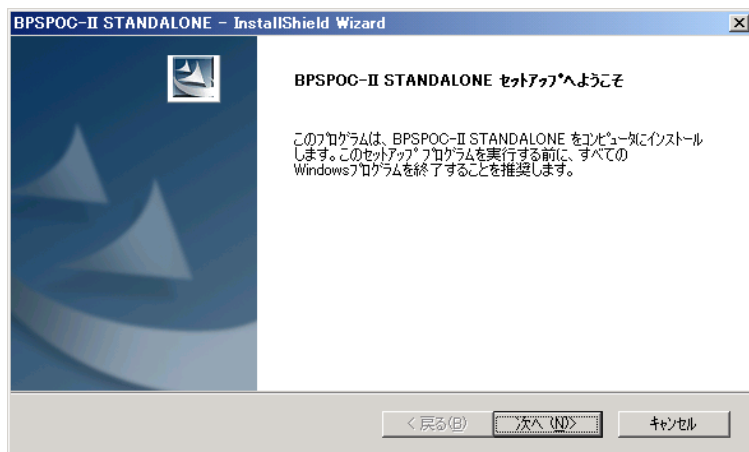


インストールプログラムが自動起動しない場合

CD-ROMドライブ中にある **Setup.exe** をダブルクリックし、インストールプログラムを起動します。

- (3) 言語を選択し「**OK**」ボタンをクリック(選択)します。

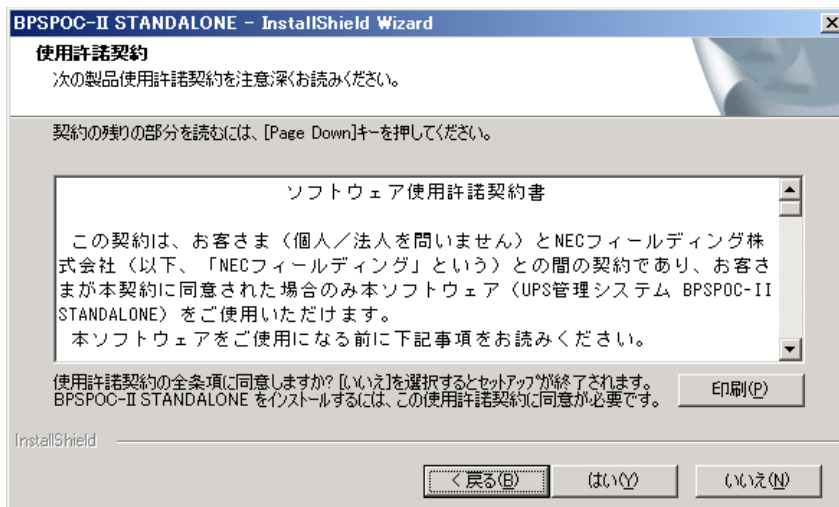
インストール



- (4) 「次へ(N)」ボタンをクリック(選択)します。

3.2 製品のライセンス

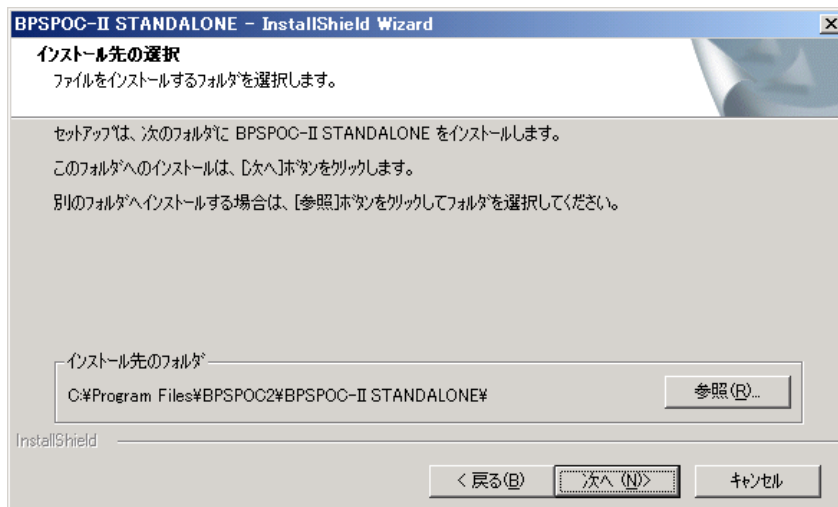
- (1) ライセンス契約画面が表示されます。



- (2) インストールを続ける場合は、「はい(Y)」ボタンをクリック(選択)します。

3.3 インストール先フォルダの確認

- (1) インストール先の選択画面が表示されます。

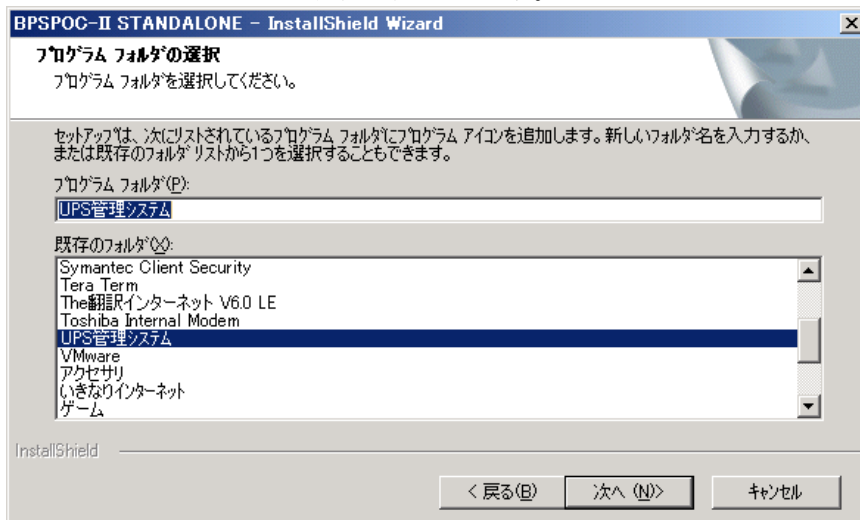


必要であれば、この画面で「インストール先」を設定します。

- (2) 「次へ(N)」ボタンをクリック(選択)します。

3.4 プログラムフォルダの選択

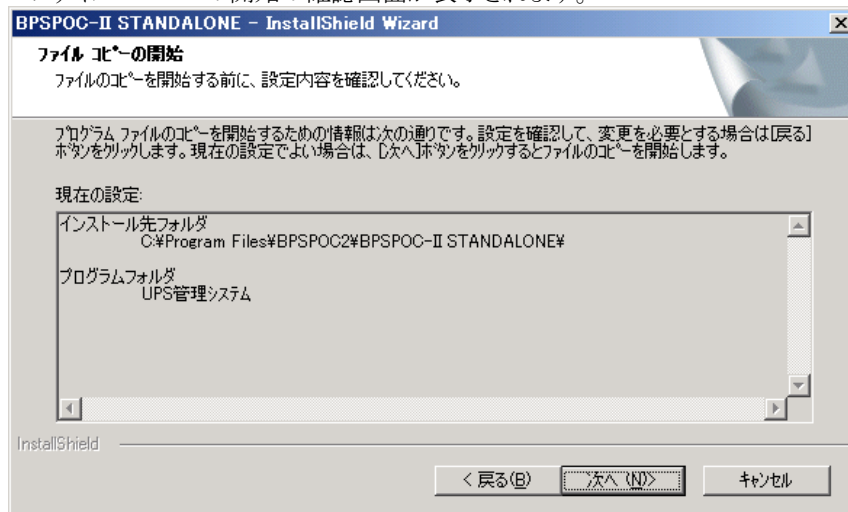
- (1) プログラムフォルダの選択画面が表示されます。



- (2) 「次へ(N)」ボタンをクリック(選択)します。

3.5 ファイルコピーの開始の確認

- (1) ファイル コピーの開始の確認画面が表示されます。



- (2) 設定内容を確認し、「次へ(N)」ボタンをクリック(選択)します。

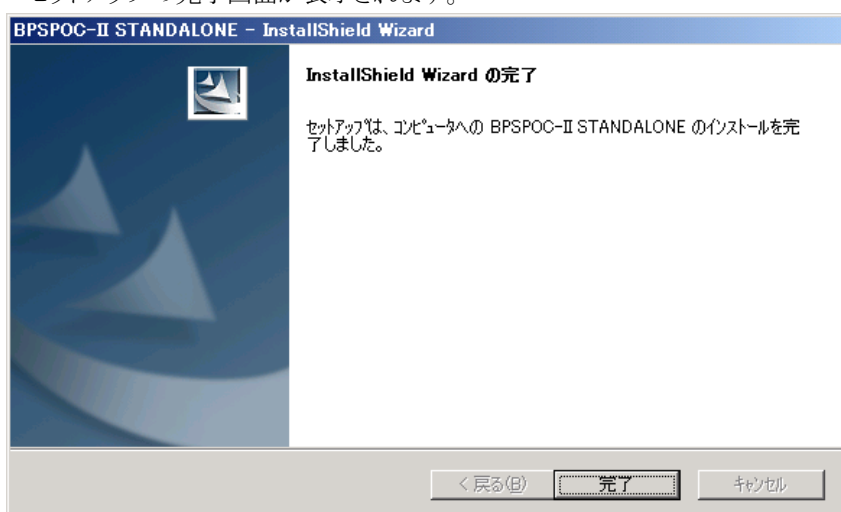
3.6 ファイルのコピー(インストールの実行)

ハードディスク上に **BPSPOC-II STANDALONE** のファイルがコピーされます。
インストールには、数分かかります。そのままお待ちください。

インストール先に十分な空き容量が無い場合、インストールできない場合があります。
動作環境として十分な空き容量があるか確認してください。

3.7 インストールの終了

- (1) セットアップの完了画面が表示されます。



- (2) 「完了」ボタンをクリック(選択)すると、インストールプログラムは終了します。

※ インストール完了後、UPS 接続情報設定を行うことで、停電時等の自動シャットダウンが行えます。

4. セットアップ

BPSP0C-II STANDALONE をインストールした後、以下の「4.1 UPS 接続情報設定機能」を使い、UPS との接続設定を行います。

この接続設定作業完了後に **BPSP0C-II STANDALONE** は正規に動作し始めます。

4.1 UPS 接続情報設定機能

この機能は、コンピュータとUPSをシリアルケーブルで接続する際に使用するシリアルポートを設定します。このシリアルポート番号が未設定の場合（インストール直後など）、**BPSP0C-II STANDALONE** を起動すると自動的に UPS 接続設定画面が表示され、シリアルポートの設定が行えます。

本設定を行うことで、停電時にお使いのコンピュータが自動シャットダウンを行えるようになります。

UPS 接続情報設定で設定したシリアルポートは、後から変更することもできます。

4.1.1 UPS 接続情報の設定手順

- (1) コンピュータとUPSをシリアルケーブルで接続します。
- (2) **Windows** のスタートメニューから **BPSP0C-II STANDALONE** を起動します。

Windows Server 2008 / 2012 を **Server Core** 環境で使用している場合の起動方法
コマンド・プロンプトを開き、インストール先フォルダに移動後、SG4EXEC.BAT を実行します。

- (3) UPS と接続されたシリアルポートを自動検出し、UPS 接続情報設定画面が表示されます。自動検出に成功すると「新しい設定」の欄に見つかったシリアルポートが設定されます。なお、お使いのコンピュータのシリアルポート表記がA、B、…となっている場合はAポートを1、Bポートを2と読み替えてください。



自動検出に失敗した場合

自動検出に失敗した場合は、以下のダイアログが表示されます。



この場合は、シリアルケーブルが正しく接続されているか、UPSの電源が入っているか、他のアプリケーションによってシリアルポートが使用されていないかを確認し、自動検出を再実行してください。

他のアプリケーションによって使用されているかどうかの確認方法は、「新しい設定」の選択リストを表示し、「選択不可」という文字が表示されているかどうかで判断できます。「選択不可」と表示されたシリアルポートは他のアプリケーションによって使用されていることを意味します。以下の画面例ではCOM3が他のアプリケーションで使用されています。



- (4) 「OK」ボタンをクリック(選択)します。

セットアップ

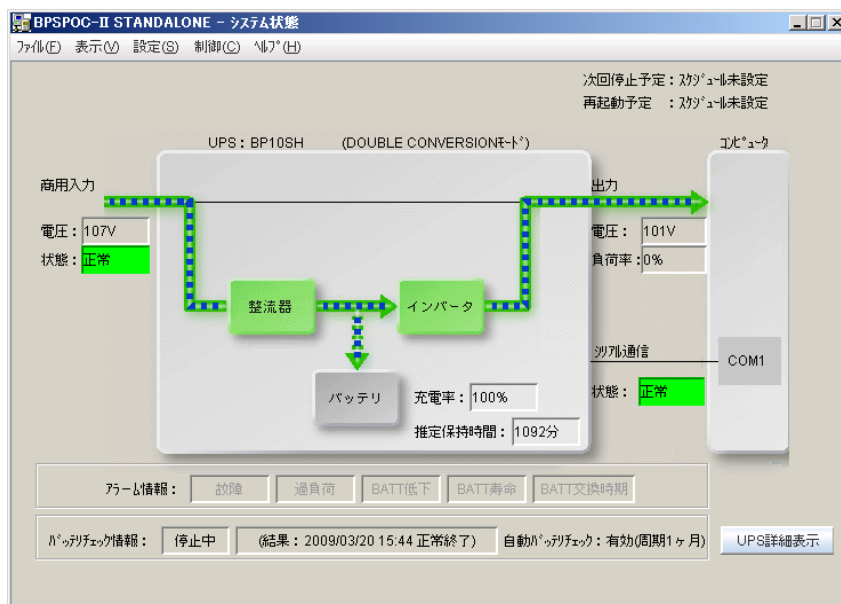
- (5) アカウント認証画面が表示されます。ここではデフォルト設定値である以下の値を設定してください。

管理者: **upsadmin**

パスワード: **UpsAdmin** (パスワードは大文字、小文字の区別を行います)



- (6) 「OK」ボタンをクリック(選択)します。
- (7) メイン画面(システム状態表示画面)に現在の状態が表示されます。



- (8) 停電時シャットダウンの確認を以下の手順で実施します。
- (A) UPS の入力を OFF するなどの擬似停電を発生させます。
 - (B) 停電発生メッセージが画面表示されることを確認します。
 - (C) メッセージ表示後、直ちに擬似停電を復旧します。

5. BPSPOC-II STANDALONE の動作

BPSPOC-II STANDALONE の詳細な設定、シャットダウン動作等に関しては、「ユーザガイド」を参照してください。

ユーザガイドは、PDFファイルでの提供となります。(ユーザガイドは、インストールCDに収録しています。)